各 位

2026 年 11 月 6 日
会社名：スターティアホールディングス株式会社
代表者名：代表取締役社長　北村 健一
（コード番号 3393 東証プライム）
問合せ先：執行役員 CFO 植松 崇夫
（TEL：03-5339-2109）

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026年５月15日公表の2027年３月期第２四半期（中間期）（2026年４月１日～2026年９月30日）の連結業績予想と本日公表の実績値について、差異が生じましたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向等を踏まえ、2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期通期（2026年４月１日～2027年３月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正について

（１）2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異

（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想	12,600	1,630	1,630	1,075	115.06
実績	12,777	1,785	1,772	1,258	134.29
増減額	177	155	142	183	
増減率	1.4%	9.5%	8.7%	17.0%	
前期実績	11,512	1,409	1,424	936	99.91

（２）2027年３月期通期連結業績予想数値の修正

（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想	26,000	3,550	3,550	2,343	250.60
今回発表予想	26,300	3,700	3,700	2,457	262.09
増減額	300	150	150	114	
増減率	1.2%	4.2%	4.2%	4.8%	
前期実績	23,790	3,242	3,294	2,318	247.58

２．差異の理由及び修正の理由

（１）中間期業績予想と実績との差異の理由

当社グループにおきましては、３ヵ年中期経営計画の２年目として、既存事業のオーガニック成長とM&A戦略の推進に注力してまいりました。

ITインフラ関連事業におきましては、M&A戦略の推進によりITインフラ関連事業の譲受を４件実行いたしました。また、サプライチェーン全体でのセキュリティ意識の高まりを背景に、セキュリティスイッチをはじめとするネットワーク商材の販売が好調に推移したほか、中規模顧客層向けソリューション事業における受注の大幅な伸長などが業績を押し上げました。

DX ソリューション関連事業におきましても、既存顧客へのフォロー体制構築を通じたアップセル創出により、複数商材を利用する顧客数および顧客単価が伸長いたしました。

特別損益におきましては、将来の事業効率化および収益性向上を目的とした子会社間の吸収合併に伴い、事業統合および拠点再編に伴う資産使用計画の見直し等による減損損失249百万円を計上した一方で、投資有価証券売却益269百万円を計上いたしました。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益のいずれも、2026年５月15日に公表いたしました中間期業績予想を上回る実績となりました。

（２）通期連結業績予想の修正の理由

通期連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の実績が当初予想を上回って推移したこと、ならびに足元における各事業の受注動向や施策の進捗状況等を勘案し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ上方修正することといたしました。

また、詳細につきましては、本日公表の「2027年３月期第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上